

献血にご協力 お願いします



待っています

400mL献血

ABOやRh血液型が同じでも血液は一人ひとり微妙に異なるため、輸血量をできるだけ少人数の血液で賄うほうが、患者さんの副作用を軽減することができます。現在、医療機関では、輸血の安全性と効果を高めることができる**400mL献血**や成分献血からつくられる輸血用血液の需要が高まっています。

●献血の手順



平成30年12月20日(木)

時間：13:00 ～ 16:00

場所：県立 桐蔭高等学校

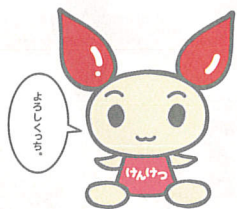
命を救う身近なボランティア「献血」にご協力ください。

協賛 和歌山ライオンズクラブ

けんけつ car

●検査成績をお知らせします。

献血にご協力いただいた方々への感謝の気持ちとして、血液中のコレステロールや総蛋白の検査をはじめ7項目の生化学検査成績を親展でお知らせしています。



献血に使用する針(血色素量検査用および採血用)や血液バッグ、成分献血用の回路などは、滅菌済みの新品で一度しか使いませんから、感染を起こす心配は全くありません。安心してご協力いただけます。

献血基準

献血される方の健康を守るために、献血できる基準があります。

献血の種類		全血献血		成分献血	
項目	200mL献血	400mL献血	血しょう成分献血	血小板成分献血	
1回献血量	200mL	400mL	600mL以下 (循環血液量の12%)		
年齢	16歳～69歳*1	男性17歳～69歳*1 女性18歳～69歳*1	18歳～69歳*1	男性18歳～69歳*1 女性18歳～54歳	
体重	男性45Kg以上・女性40Kg以上	男女とも50Kg以上	男性45Kg以上・女性40Kg以上		
最高血圧	90mmHg以上				
年間献血回数 *2 (1年52週として換算)	男性6回以内 女性4回以内	男性3回以内 女性2回以内	血小板成分献血1回を2回分に換算して 血しょう成分献血と合計で24回以内		
年間総献血量 *2 (1年52週として換算)	200mL献血と400mL献血を合わせて 男性1,200mL以内・女性800mL以内		—	—	

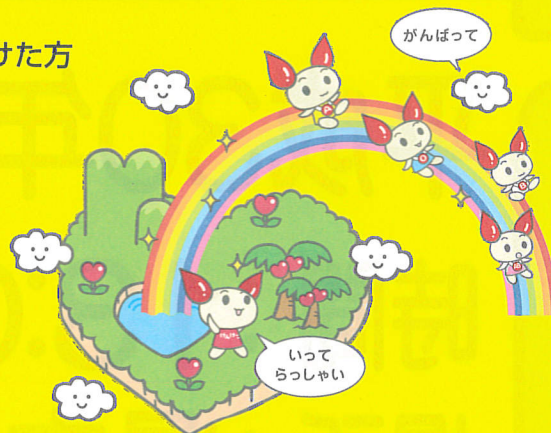
^{*1} 65歳から69歳までの方は、60歳から64歳までの間に献血の経験がある方に限られます。

^{*2} 期間の計算は直近の採血を行った日から起算します。

このほか血色素量や血圧などの基準もあり、血液事前検査の結果によっては献血にご協力いただけないことがあります。

以下の項目に該当する場合は、献血される方と患者さんの安全のために献血をご遠慮願っています。

- ① 3日以内に出血を伴う歯科治療(抜歯、歯石除去等)を受けた方
- ② 4週間以内に海外から帰国(入国)した方
- ③ 1ヵ月以内にピアスの穴をあけた方
- ④ エイズ検査が目的の方
- ⑤ 6ヵ月以内に下記に該当する方
 - (a) 不特定の異性または新たな異性との性的接触があった
 - (b) 男性どうしの性的接触があった
 - (c) 麻薬、覚せい剤を使用した
 - (d) 上記(a)～(c)に該当する人と性的接触をもった
- ⑥ 今までに下記に該当する方
 - (a) 輸血(自己血を除く)や臓器の移植を受けた
 - (b) ヒト由来プラセンタ注射薬を使用した
 - (c) 梅毒、C型肝炎、マラリア、シャーガス病にかかった



安全性確保のため献血は帰国後4週間以降にお願いします。

献血間隔

次の献血まで十分間隔をあけてください。

次回の献血	今回の献血	血しょう成分献血	血小板成分献血 ^{*3}	400mL献血	200mL献血
血しょう成分献血		男女とも2週間後の同じ曜日から献血できます	男性は12週間後、女性は16週間後の同じ曜日から献血できます	男女とも8週間後の同じ曜日から献血できます	男女とも4週間後の同じ曜日から献血できます
血小板成分献血					
400mL献血					
200mL献血					

^{*3} 血しょうを含まない場合には、1週間後に血小板成分献血が可能になります。ただし、4週間に4回実施した場合には次回までに4週間以上あけてください。

献血の際まれに次のような事が起こることがありますのでご了承ください。

- 皮下出血(針痕のまわりが青くなる) ○気分不良(緊張・不安感・空腹感等が要因となることがあります)
- ごくまれに神経に触れることがあります(指先まで響くような痛みがあったり、針を刺した時の痛みが続く)

上記以外にも献血される方や患者さんの安全を確保するため検診医が献血をご遠慮いただくことがありますのでご了承ください。